

小中高連携を意図した表現運動・ダンスの授業研究

事業代表者 宇都宮大学教育学部・教授・茅野 理子

構 成 員 宇都宮大学教育学部・教授・茅野 理子, 栃木県教育委員会スポーツ振興課,

小中高教員及び社会体育指導者 26 名 (小 11 名, 中 4 名, 高 9 名, 社会体育 2 名)

1. 事業の目的・意義

3年計画で事業を展開してきた最終年にあたり、今年度はそのまとめとして、小中高の連携を踏まえた指導書の発行を計画した。これまでの公開授業や実践の成果を活かし、各教育現場のニーズに応え、ダンス経験の少ない教員が基本的な授業展開の見通しをもって指導ができるような内容としてまとめることを目的とした。

事業の意義は主として以下の2点である。

- ・小中高大及び社会体育が連携したダンス指導書はあまり例がなく、現場のニーズに応えられるものと考えている。
- ・この指導書の内容を教員養成課程の学生に還元することで、学生の実践的指導力の向上が期待できる。

2. 事業内容

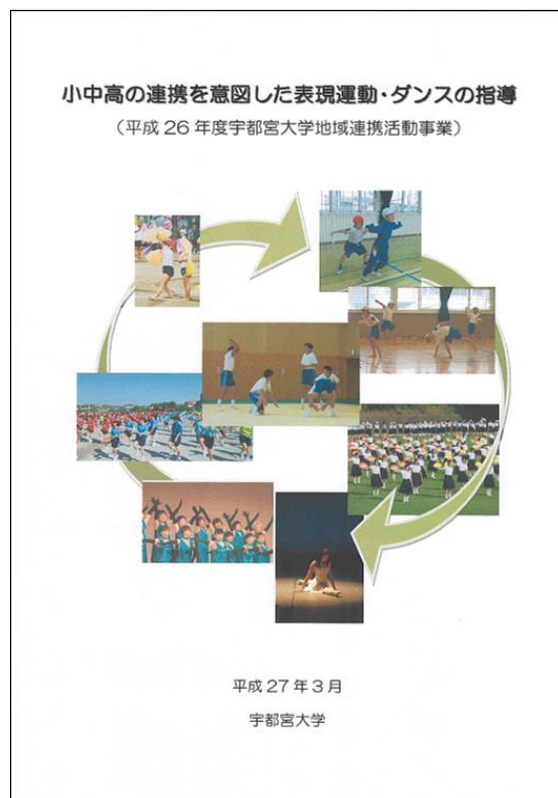
栃木県教育委員会スポーツ振興課並びに栃木県女子体育連盟に所属している小中高教員及び社会体育指導者の協力を得て、小学校から高校までのワーキンググループを中心に、これまでの実践内容のまとめとともに、新たな内容検討を含めて指導書を発行するにあたり、実践を重ねていった。

3. 事業の進捗状況

- 4月 小中高ワーキンググループを組織
編集方針の確認
- 7月 小学校部会との検討
- 8月 編集構成案
- 12月 編集検討
- 3月 指導書発行

4. 事業の成果

指導書は全92頁から成り、「4・4・4の発達
の括りによる表現運動・ダンスの発展」(村田, 2007)



表紙

をもとに小中高の連携としての内容を以下のように構成した。

「小学校におけるダンスの指導」では、表現リズム遊び・表現運動を好きにさせる指導のポイントをテーマに、低・中・高学年の実践例でまとめている。実際に授業を展開できるように指導案として提示し、子どもたちが表現リズム遊びや表現運動を好きになるヒントを、教材開発、教具の工夫、指導の要点の中に示した。また、指導経験の少ない先生に向けて、一言メッセージを載せた。

「中学校におけるダンスの指導」では、それぞれのダンスの特性を踏まえた指導の基礎基本として、指導における基本知識や要諦などに重視して構成した。特に、創作ダンスの授業では、グループでの作品創作をどのように進め、発表まで高めていくかについて、クラスファイルの活用例で詳しく解説している。

目次

はじめに

本書の作成に当たって

I 小学校における表現リズム遊び・表現運動の指導

1 低学年の題材例と指導案

2 中学年の題材例と指導案

3 高学年の題材例と指導案

◇事例1 みんなで高めあうための自主研修

◇指導に役立つ資料集

II 中学校におけるダンスの指導

1 「創作ダンス」の指導の基礎基本

◇事例2 「創作ダンス」の啓発と普及をめざして

2 指導計画と評価

◇参考資料

◇授業で使いたい音楽資料

III 高等学校におけるダンスの指導

1 学習指導要領の改訂に向けて

2 男女共修のグループ活動による作品創作

3 エアロビクス的な内容で体力強化

4 体育祭で伝統的に継承されている学校ダンス

◇事例3 栃木県高等学校ダンス部の現状

◆特別支援学校におけるダンスの指導

◆生涯スポーツとしてのダンス

資料

平成24・25年度地域連携活動事業報告書

実践報告一覧

執筆者一覧

「高等学校におけるダンスの指導」では、ダンスの特性を深める段階としてのさまざまな取り組みとして、エアロビクスダンスへの応用、体育祭での演技、課外活動などについてまとめている。「時・場所・仲間に応じてダンスを再構成・創造して」いくダンス指導の実践例となっている。

併せて、特別支援学校でのダンスの指導につい

て、高等部の事例を2校、小学部の事例を本学教育学部附属特別支援学校での実践として掲載した。生涯スポーツとしてのダンス実践については、ジャズダンスと音楽を取り入れた健康体操の実践例を紹介している。

また、それぞれについて、教員養成大学の立場から、様々な提案をしている。

小中高全体で共有したい指導技術として、「指導に役立つ資料集」では、教材・教具の工夫、ダンス・ウォーミングアップ例を、また、「授業で使いたい音楽資料」では様々な用途での楽曲についてまとめている。基本的な用語等については、「II 中学校におけるダンスの指導 それぞれのダンスの特性を踏まえた指導の基礎基本」にまとめた。

次頁に指導書の一部を掲載する。

5. 今後の展望

まとめてみると今後多くの課題が残された。小中高の現場では、誰でも有効に実践できる（気負わず、やってみたいと思わせる）教材開発が望まれている。指導の手順など詳細にわかりやすく示したつもりであるが、普遍的な内容となるにはさらに多くの実践を積み重ね、その共通項を導き出していく必要がある。よりよい授業・指導支援ができるよう引き続いて励みたい。

謝辞

この3年間、地域連携活動事業費の援助をいただき、様々な活動に取り組みましたことにお礼申し上げますとともに、本報告をまとめるにあたりご協力いただきました栃木県教育委員会スポーツ振興課並びにワーキンググループの先生方、授業実践をしてくださった先生方と児童生徒のみなさんに心より感謝申し上げます、謝辞といたします。

4・4・4の発達の括りによる表現運動・ダンスの発展

小学校低・中学年	小学校高学年・中学1・2年	中学3年・高校3年間
いろいろなリズムや表現の遊びを体験して、多様な身体感覚やコミュニケーションの基礎を身に付け、踊りが好きになる段階	いろいろなダンスを体験して、それぞれのダンスの特性（楽しさや魅力）に触れる段階…中学1・2年までダンス必修化	好きなダンスを選び、時・場所・仲間に応じてダンスを再構成・創造してダンスの特性を深める段階…選択制への移行



(5) 身体感覚・運動感覚を育てる表現リズム遊び

のりものあそび(2時間)



◆学習の目標

- ①表現遊びに進んで取り組もうとすることができる。
- ②簡単なお話を作って工夫して動いたり、お話に合う動きを考えたりすることができる。
- ③表したい乗り物の様子や特徴を真似て、そのものになりきって全身を動かして踊ることができる。

◆学習のすすめ方(本時1・2/2時間) *以下, 1~3:1/2時間, 4・5:2/2時間として例示

時間	内容と学習活動	指導の要点
導入	<p>1 ウォーミングアップをする。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて、みんなで踊ろう 「しろくまのジェンカ」, 「タタロチカ」 <p>2 本時の学習のめあてを確認する。(10分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>いろいろなのりものになろう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなのりものがあるかな。 ・どんな動きや音がするかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムに乗って楽しく踊ることで、心と体をほぐしながら、仲良く活動する雰囲気を作ったり、運動量を確保したりする。 ・いろいろな乗り物になりきって楽しく踊ることを知らせる。 ・乗り物調べをもとに、乗り物とその特徴などを話し合う。
展開	<p>3 乗り物になって動こう(25分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなでのりものになってみよう。(飛行機・電車・オートバイ・ジェットコースターなど) ・1人で、なりたい乗り物になって踊ろう ・2人でいろいろな乗り物になって踊ろう。 <p>4 3人で好きな乗り物を決め、ひと流れのお話を作って動こう。(35分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひと流れのお話を相談し、ボードに書く。(例) ジェットコースター…2人ずつならんどの。ゆっくり上る⇒急に下る⇒右に曲がり、次は左に曲がる⇒最後に止まる。 ・3人で練習 ・見せ合い(発表) 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は教師のリードで、動きがイメージしやすい乗り物になってみんなで一緒に動く。次に、乗り物カードを参考にして1人でなりたい乗り物になって動く。 ・2人組になり、一人が考えた動きをもう一人がまねして動く。2人で1つの乗り物になって動くように発展させる。 ・友達の動きのまねをしたり、いろいろな動きを考えたりしながら、よりよい動きができるようにする。 ・アドバイスカードを提示し、乗り物の特徴や動きづくりの参考にさせる。 ・上手くお話ができないグループには、一緒に動きを考えたり、各自の思いを聞いたりして、動きを決めることができるように支援する。 ・班ごとにお話を発表し、友達の良い動きをたくさん見つけ、互いに学び合ったり、認め合ったりできるようにする。
	<p>ひと流れのお話をもとに、乗り物の特徴や動きが表れるように工夫することができたか、観察や発表、学習カードから評価する。</p> <p style="text-align: right;">【運動についての思考・判断】</p>	
まとめ	<p>5 学習のまとめをする。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の活動を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の感想やアドバイスから、本時の振り返りをし、表現リズム遊びの良さや楽しさを共有する。

◆学習のポイント

★国語「のりものしらべ」の学習を生かして（学習活動2・3）



★「みんなでのりものになってみよう」・・・イメージしやすい乗り物で動く（学習活動3）



大空高く飛び立つ
大きく旋回する
低空飛行・・・

二人乗りの大きなバイク
ブルンブルン
ブルンブオオー



二人乗りのオートバイ

★「ペアでのりものになろう」・・・交代でまねして楽しむ（学習活動3）

「前の人の動きをまねして動こう」



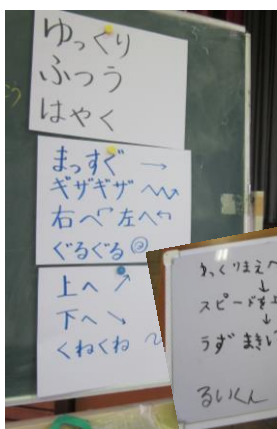
でん車

ピー！出発進行
ガタンゴトン
ガタンゴトン



ジェットコースター

★「グループでのりものになろう」・・・アイデアを出し合ってみんなで表す楽しさ（学習活動4）



お話づくりの相談



「みんなでも〇〇になったよ」



ゆるがり
スピード上げておぼろげ
うずまきまわるとまる
るしく たけ

①は左に右にまがる
②ふっうぐるぐる
③カクカク

ゴトゴト...ジェットコースターがゆっくり上がっていくよ...一番高いところから一気に下って大きく右に曲がるよ、今度は左...グググググッ、到着！

【グループでのお話づくり】

塚原 美唱（宇都宮市立瑞穂台小学校*）

*執筆当時